



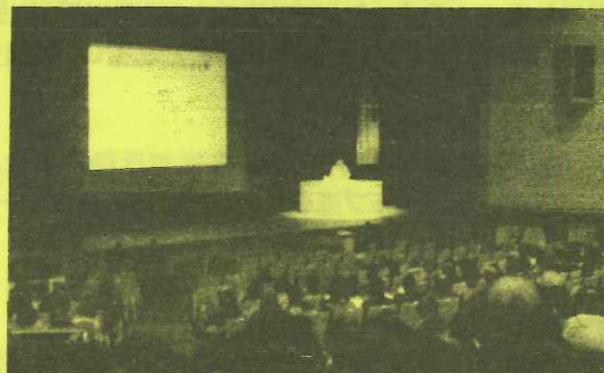
## 岐阜市ボランティア連絡協議会からのお知らせ 岐阜市ボランティア連絡協議会とは？

岐阜市ボランティア連絡協議会は、岐阜市でボランティア活動をしている個人・団体が、ボランティア活動を積極的にすすめていくための情報交換や交流の場として、平成2年に発足しました。

また、ボランティア活動に必要な研修会やサロンなどを行い、より多くの方にボランティア活動の楽しさや魅力を知っていただき、いつまでも生き生きとした活動を続けていただきたいと思います。



◀ ボランティアサロン  
アルミ缶アートの様子



◀ 研修の様子  
岐阜県ボランティア・市民活動フェスティバルへの参加

## 平成29年度 総会を開催します!!

日時：4月22日(土) 13時～

場所：岐阜市民福祉活動センター  
2階 大会議室

1. 事業報告及び決算報告
2. 事業計画及び予算案
3. 余興

内容：津軽三味線  
田中 隆史 氏



↑ 昨年度の総会 ↑  
歌のコンサートの様子

## 平成29年度 ボランティア活動保険 加入受付が始まっています！

ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや、損害賠償責任を補償します。一部、保険料や補償金額が改定されておりますので、申込時に確認をお願いします。個人の方は印鑑、団体の方は、印鑑と団体の名簿(住所・氏名・電話番号)を持参してください。

次号予告

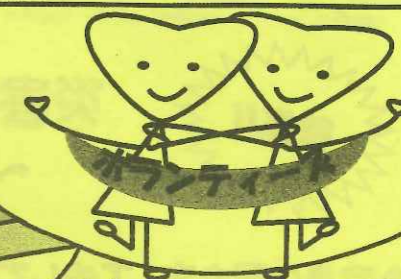


お知らせ  
次号177号は、4月20日発行予定です。

## ボランティアセンター情報紙

# にこにこ

～いろいろな色に輝いて～



第176号

【発行日】2017. 3. 20  
【発行元】社会福祉法人岐阜市社会福祉協議会  
岐阜市ボランティアセンター  
〒500-8309  
岐阜市都通2-2 岐阜市民福祉活動センター内  
TEL (058) 255-5511  
FAX (058) 255-5512  
URL <http://www.gifushi-shakyo.or.jp>  
E-MAIL [gifu.vc-gfs@gifushi-shakyo.or.jp](mailto:gifu.vc-gfs@gifushi-shakyo.or.jp)

## ☘ NPO・ボランティア・生涯学習 子ども・3世代交流フェスティバル

3月5日(日) 10:00～15:00 ふれあい福寿会館

今年は「防災・減災」というテーマで、子ども・3世代交流フェスティバルが開催されました。

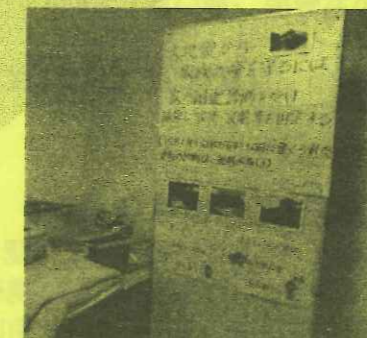
岐阜市ボランティアセンターと関わりのある4団体にブースを出展していただき、日頃の活動紹介だけでなく、「新聞紙でスリッパ作り」や「AED体験」など防災に関連した活動を行っていただけました。

普段は「防災・減災」についての活動を行っていない団体もいざという時、「自分たちに何ができるのか？」考えてもらうきっかけになったのではないかと思います。



新聞で簡単にスリッパが  
作れました♪  
※作り方は別紙「身近なもので  
防災グッズ」をご覧ください!!

## 身近に出来る 防災については、 次ページの特集で!!



「防災・減災」をメインに  
活動している団体は、  
日頃の活動を活かした  
ブースを出展されていま  
した!



岐阜市ボランティアセンターは、甚大な被害をもたらされた災害が発生した時に立ち上げる災害ボランティアセンターのPRをしました。

特集!!

## 災害に対する家庭での備え ～これだけは準備しておこう～



### ◆家具の置き方、工夫していますか？

阪神・淡路大震災や新潟中越地震などでは、多くの方が倒れてきた家具の下敷きになって亡くなったり、大けがをしました。大地震が発生した時には「家具は必ず倒れるもの」と考えて、転倒防止対策をする必要があります。

- ・家具が転倒しないよう、家具は壁に固定しましょう。
- ・寝室や子ども部屋には、出来るだけ家具を置かないにしましょう。置く場合は、なるべく背の低い家具にするとともに、倒れた時に出入り口をふさがないように家具の向きや配置を工夫しましょう。
- ・手の届くところに懐中電灯やスリッパ、ホイッスルを備えておきましょう。



### ◆食糧・飲料などの備蓄は十分ですか？

電気やガス、水道などのライフラインが停まった場合に備えて、普段から飲料水や非常食の備蓄をしましょう。

○食料、飲料、生活必需品などの備蓄例(人数分用意しましょう)

- ・飲料水 3日分(1人1日3リットルが目安)
- ・非常食 3日分の食料として、ご飯(アルファ米など)、ビスケット、板チョコ、乾パンなど
- ・トイレトイレットペーパー、ティッシュペーパー、マッチ、ろうそく、カセットコンロなど
- ※非常に広い地域に甚大な被害が及ぶ可能性がある南海トラフ巨大地震では、「1週間以上」の備蓄が望ましいとの指摘もあります。

※飲料水とは別に、トイレを流したりするための生活用水も必要です。日頃から、水道水を入れたポリタンクを用意する、お風呂の水を張っておくなど備えをしておきましょう。



### ◆非常用持ち出しバッグの準備、できていますか？

自宅が被災した時は、安全な場所に避難し避難生活を送ることになります。非常時に持ち出すべきものをあらかじめリュックサックに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるようにしておきましょう。

○非常持ち出しバッグ内容例(人数分用意しましょう)

- ・飲料水 ・食料品(カップめん、缶詰、ビスケット、チョコレート)
- ・救急用品(ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬)
- ・ヘルメット、防災ずきん ・マスク ・軍手 ・懐中電灯 ・衣類 ・下着 ・毛布、タオル
- ・携帯ラジオ、予備電池 ・携帯電話の充電器 ・使い捨てカイロ
- ・ウェットティッシュ ・洗面用具 ・携帯トイレ

※乳児のいる家庭は、・ミルク ・紙おむつ ・ほ乳瓶なども用意しておきましょう。



### ◆家族同士の安否確認方法は決まっていますか？

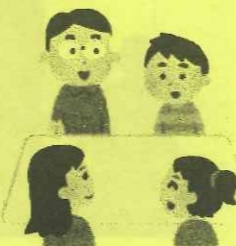
別々の場所にいるとき災害が発生した場合でもお互いの安否を確認できるよう、日頃から安否確認の方法や集合場所など事前に話し合っておきましょう。災害時には、携帯電話の回線がつながりにくく、連絡が取れない場合もあります。その際には以下のサービスを利用しましょう。

○災害用伝言ダイヤル

- ・局番なしの「171」に電話をかけると伝言を録音でき、自分の電話番号を知っている家族などが伝言を再生できます。

○災害用伝言板

- ・携帯電話やPHSからインターネットサービスを使用して文字情報を登録し、自分の電話番号を知っている家族などが情報を閲覧できます。



## 助成金情報!

みずほ教育福祉財団

### 第34回「老後を豊かにするボランティア活動資金助成事業」

1. 助成対象 地域において、高齢者を主な対象としている、あるいはスタッフの中核が高齢者である比較的小規模なボランティアグループで、次の要件を満たすもの。

(1) 必要要件

- ① 登録ボランティアスタッフ数: 10~50人程度
- ② グループ結成以来の活動実績: 2年以上(平成29年3月末時点)
- ③ 本助成を過去3年以内(平成26年度以降)に受けていないこと
- ④ グループ名義の金融機関口座を保有し、規約(会則)、会計報告書類が整備されていること

(2) 対象外となるグループ

- ① 法人格を有する団体(特定非営利活動法人など)およびその内部機関
- ② 地域の老人クラブ連合会に加盟しているグループおよび老人クラブ内の活動グループ

2. 助成対象となる活動内容

- ① 高齢者を対象とした生活支援サービス
- ② 高齢者による、地域環境の改善につながる活動
- ③ 高齢者と他世代との交流を図る活動
- ④ レクリエーションを通じて高齢者の生活を豊かにする活動

3. 助成対象となる用具・機器

- ① 活動で継続的に使用する用具・機器(エアコン・大型テレビ等の設備に類するものを除く)の購入費用に限ります。
- ② 運営経費(人件費、交通費、消耗品費)、研修費(講師謝金、会場費)等は対象外です。
- ③ 助成決定通知の到着前に購入された用具・機器は対象外です。

4. 助成金額およびグループ数

1グループにつき10万円を上限に、希望金額を踏まえ、選考委員会にて助成金額を決定する。計110グループ程度を予定しています。

5. 応募方法および期限

所定の申請書に必要事項を記入の上、**都道府県・指定都市または市区町村社会福祉協議会の推薦を受け(※)**、下記の送付先まで郵送。

(期限) 平成29年5月31日(水) (必着)

(送付先) 東京都千代田区内幸町1-1-5 みずほ銀行内  
公益財団法人 みずほ教育福祉財団 福祉事業部

(申請書) ホームページ(<http://www.mizuho-ewf.or.jp>)からPDF形式でダウンロードできます。

※推薦手続きは時間を要する場合がありますので、必ず事前に連絡を行い、十分な余裕をもって申請書の持込をお願いします。

【申し込み・問い合わせ】

みずほ教育福祉財団 福祉事業部

TEL: 03-3596-4532 FAX: 03-3596-3574

E-Mail: FJP36105@nifty.com

【推薦手続きについて】

岐阜市ボランティアセンター

TEL: 058-255-5511